

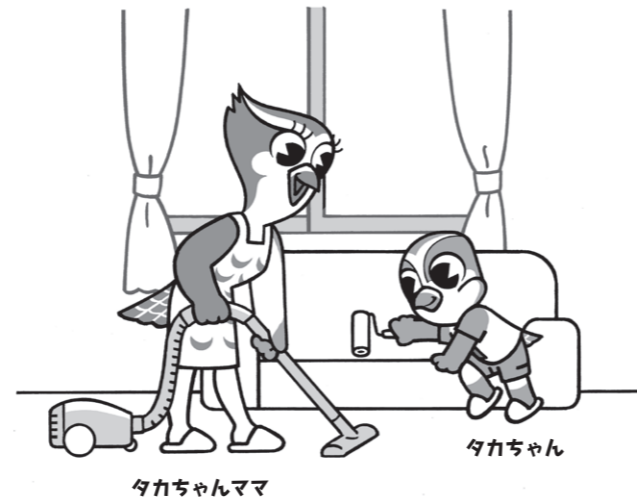


健やか豆知識

第7回

Q. 1gのホコリの中に、
ダニは何匹ぐらい
いるでしょうか。

- I 20匹 II 200匹 III 2,000匹



タカちゃんママ

タカちゃん

ぜん息にはホコリが大敵。ていねいな掃除を心がけましょう

かつては、秋になると、さまざまな原因でぜん息の子どもたちの多くが急性発作を起こし、救急外来にはぜん息児であふれていました。しかし、すぐれた薬の登場と対応法の研究によりその治療は大きく変わり、最近ではぜん息の状態をとともよく管理できるようになりました。いまや、ぜん息が原因で亡くなる子どもはいなくなり、治癒を目指すことができる時代になりました。

ぜん息の管理が大きく改善したのは、①診療ガイドラインに沿った治療が行われるようになったこと、②新たな薬剤としてロイコトリエン受容体拮抗薬や吸入ステロイド薬などが登場したことによります。これら薬剤は長期管理薬と呼ばれ、日常的に服用することでぜん息の急性発作を予防します。このため、ぜん息の調子がよくなったからといって、薬剤の服用を勝手に中断してはいけません。また、吸入ステロイド薬は、正しく吸入しないと十分な効果が得られません。吸入の正しい方法を医師や看護師、薬剤師などに教えてもらうことがとても大切です。

子どものぜん息の多くはダニのアレルギーが関わっています。ぜん息の発作が最も多いのは、9月下旬から10月下旬で、気温や気圧の変化(台風の接近)や高温多湿な夏に増殖したダニが秋に死骸となり、吸い込まれやすくなることも考えられます。このため、生活環境の整備も大切な治療の1つです。ダニは小さくて肉眼では見えず、床や寝具などホコリの溜まりやすい場所に隠れています。ダニ対策として1m²あたり20秒をめやすに掃除機がけをすることが勧められます。

監修 今井 孝成 昭和大学医学部小児科 教授

< III 勘五 >

高田製薬株式会社

〒336-8666 埼玉県さいたま市南区沼影1丁目11-1

高田製薬

www.takata-seiyaku.co.jp

さらに詳しい情報は
ホームページで!

⇒さらに詳しい情報は「クイズ解説」をご覧ください